

全産連

不正転売等の対応策を説明

新年賀詞交歓会を開催

業界振興へ議論を進める



山本公一環境大臣



石井邦夫会長

(公社)全国産業廃棄物連合会は1月13日、東京都内で新年賀詞交歓会を行った。石井邦夫会長は昨年発生した食品廃棄物の不正転売問題に触れ、各県協会や国と連携して排出事業者向けの「産業廃棄物処理業 廃棄食品実地確認チェックリスト」を策定したことを報告した。

昨年から行われている廃棄物処理法見直しについては、昨年3月末に意見書を国に対して提出した他、廃棄物処理制度専門委員会に委員を派遣して議論に

参加していることを説明した。

従来から検討している業界の振興策については、連合会内に設置したタスクフォースで議論を続け、今年秋をめどに一定の形にすることを明かした。

人材育成については昨年度に続いて今年度も環境省から「産業廃棄物処理業における人材育成方策調査検討業務」を受託し、調査を行っている。

その他にも業界にお

ける資格制度の創設や労働災害防止、30年度低炭素化目標などについて検討を進めている。

来賓の山本公一環境大臣は▽今年夏をめどに環境・資源循環局を発足させること▽廃棄物処理法・バーヤル法の改正の検討について業界の要望を受け止めること▽パリ協定を受けて廃棄物処理の低炭素化を支援すること▽廃棄物処理における適正料金を知ること――などについて言及した。